

25.4.14

# 元気なアユに育って

## 親子連れら稚魚放流

一ツ瀬川

河川環境の大切さを学んでもらおうと、西都市や新富町などをつくる一ツ瀬川濁水対策推進協議会と一ツ瀬川漁協は13日、同市の山角橋近くの同川にアユの稚魚を放流した。同市のほか、同町や宮崎市などから親子連れら120

人が参加し、川を遡上(そじよう)していく稚アユを見送った。今回は昨年12月にふ化した稚アユ1万匹(約1000キ)を準備。参加者らはトラックで河川敷まで運搬された

稚魚をバケツに入れて川べりまで運んで次々と放流。参加した妻北小5年の朝国博典君(10)は「バケツを運ぶのは重かったけれど、アユが成長して元気に泳いでくれるとうれしい」と話し、川の流れに逆らいながら泳ぐ様子を見守っていた。

一ツ瀬川漁協の田中寛組合長は「川や魚に親しみをもちながら子どもたちが成長してくればありがたい」と話し

ていた。同漁協は4月中に一ツ瀬川流域に計1・4トの稚アユを放流することになっている。



バケツで運んだ稚アユを放流する子どもたち